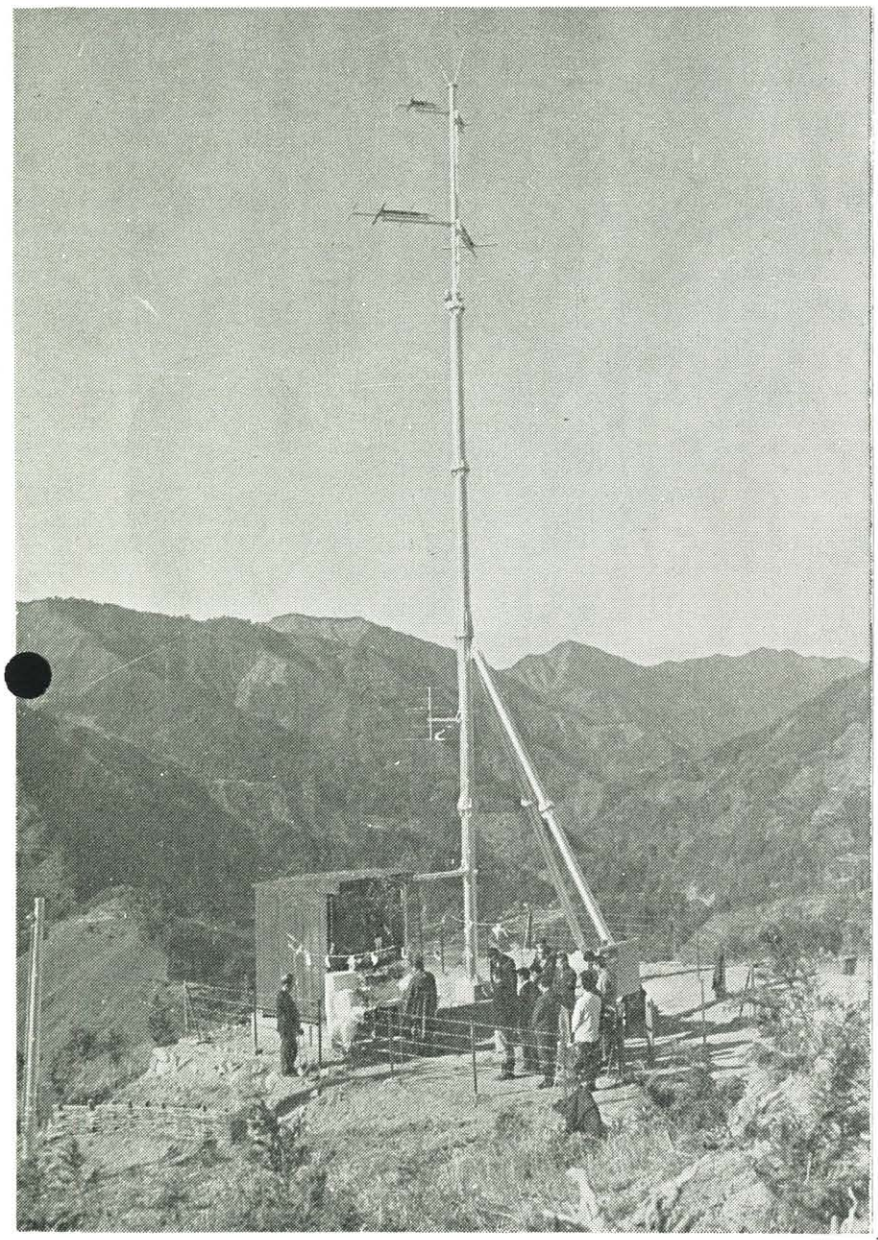
NO.14
昭和43年（1968）2月5日
編集と発行　高知県安芸郡馬路村 馬路村公民館
印　刷　川北印刷所

広報うまじ

人口と世帯数
（1月末日、住民登録簿による）

大字	男	女	計	世帯数
馬路	825	805	1,630	484
魚梁瀬	543	525	1,068	346
計	1,368	1,330	2,698	830

一口辞典
馬路村の位置（役場所在地）
東経 135°2′25″
北緯 33°33′12″
海抜 280m（魚梁瀬で448m）
馬路村の広さ 165.07㎢
東西 14.41Km
南北 19.4Km



NHK馬路テレビジョン局開局!!

総工費2千数百万円でNHKによってつくられていた馬路TV局は1月28日正式に開局。その前日には現地で修ばつ式が行なわれ、2月3日，国会議員らを迎え盛大に開局式が開かれました。これを記念して同日午後2時から「歌の花束」公開録音が馬路小学校で行なわれ，バーブ佐竹らが来村、五百人近い村民が、実物の歌手を前に拍手喝采をおくりました。（城山山頂に完成したTV局）

3年間の総事業費728万円
山村振興事業など
12月定例議会決る

昭和四十二年十二月定例会である十二月二十六、二十七の両日開催され、一般職員の給与改正条例など十二議案が審議されいずれも原案どおり決定しました。

決定されたおもなものは、一般職員の給与改正（九月一日より平均千六百円のベースアップ）と、本年度より三カ年計画で行なわれる山村振興特別対策事業（本年度事業費二百十八万円）、昭和四十一年度決算などで昭和四十二年度一般会計予算の追加補正額は七百三十四万三千円で、累計一億六千九百一万一千円となりました。

なお、懸案事項になっている議会議員の定数は何名が適当であるかを審議するため「議会議員定数審議会条例」も、同議会で制定されました。審議会委員の定数は五名で、村では、人選をいそいでいます。

昭和四十一年度一般会計決算

収入　一億四千一百万円
支出　一億二千六百万円

昭和四十一年度一般会計ほか三特別会計の決算は別表のとおりです。

なお、一会計歳出の目的別性質別内訳は、普通建設事業費に六千六百二十八万七千円（全体の五十二・五㌫）が支出されうち補助事業が三千二百五十八万一千円、村単独事業が三千二百七十万一千円となっており、建設事業の多かったことを物語っています。続いて人件費二千六十五万九千円（十六・二㌫）物件費千四百九十三万二千円（十一・六㌫）災害復旧費九百二万四千円（七・二㌫）などとなっております。

次表は昭和四十一年度中に支出された単一事業で最も金額の大きかったものです。

（単位千円）

①土川林道	七、〇〇〇
②谷山林道	六、一〇〇
③野久保林道	三、六一〇
④亀谷吊橋架設	三、一一四
⑤東川栃谷林道	二、七六九
⑥丸山台地舗装	二、一八一
⑦朝日出橋架設	一、八三五
⑧入会林野近代化事業請負	一、八二一
⑨茗荷橋復旧	一、八〇九
⑩庁舎改修	

昭和41年度決算書　（単位千円）

会計別	歳入歳出予算	収入額	支出額	差引残額
一般	144,244	141,418	126,080	15,338
有線放送	4,160	4,255	3,780	475
簡易水道	1,802	2,776	1,498	1,278
国民健康保険	9,600	9,796	9,308	488

耕うん機購入は十二台
みょうが　二一〇〇アール
柚子　二、一四九アール
＝山振事業＝

決定された山村振興特別対策事業は、県費補助を受け、本年度より三カ年にわたって実施されるもので、補助事業が総額七百二十八万四千円、融資事業が四百五十二万五千円となっており、具体的事業内容は別表のとおりです。

このうち、本年度事業費は補助事業が二十八万円、融資事業が百三十五万七千円となっています。

補助事業とは、事業費の二分の一県より補助を受け残り二分の一を、半額づつ村と受益者が負担するもので、受益者は事業費の四分の一を負担するもので例をとれば、一台二十七万円の耕うん機が約七万円で購入できるわけです。

ただし、受益者は個人ではなく、すべて三戸ないし五戸で協業体をつくり、協業体で購入する。

つぎに融資事業は、別表のとおり、みょうがと柚子の生産をとりあげており、事業費の八十㌫の融資が受けられるものでおおむね一年すえおき三年償還となるものです。これに対しては県より七分五厘、村より一分、農協より一分の利子補給があり、受益者は事業費の八十㌫の額を無利子で借り入れができるというわけです。

とくに期待される事業は十二台の耕うん機、九台の自動鋸（チェンソー）購入などでその配分については農業委員会などで検討されています。

こうして三年後には補助事業を終了し、農林業生産の省力化が期待でき、さらに融資事業のみようが生産では将来年間千六百㌫、六十四万円の生産、柚子では六千二百五㌫、三百四十一万三千円の生産が見込まれています。

山振事業実施計画表

区分	事業種目	受益範囲 戸数（戸）	受益範囲 面積（数量）	事業量	事業費（千円）
補助事業	優良種苗（みょうが）生産	20	70a	70a	105
	耕うん機購入	61	3,160a	12台	3,240
	動力刈払機購入	10	3台	3台	129
	病害虫防除機具購入	204	5,508a	9台	468
	自動鋸購入	29	9台	9台	936
	揚水機購入	21	580a	2台	200
	簡易搬送施設設置	6	1カ所	1カ所	400
	林業労務班用山小屋設置	12	2棟	2棟	400
	農林産物簡易集荷所設置	30	2棟	2棟	400
	柚子加工施設置	96	365a	1カ所	1,006
	計	489	—	--	7,284
融資事業	みょうが生産事業	41	200a	200a	160
	柚子生産事業	46	1,149a	1,149a	4,365
	計	87	—	—	4,525

日誌

10月
7日＝中芸地区町村職員ソフトボール大会（田野中）
8日＝馬路小学校大運動会
魚梁瀬小中学校大運動会
9日＝臨時議会
10日＝体育の日
15日＝魚梁瀬熊野神社例大祭
22日＝中芸地区消防団秋季連合演習（馬路中）
秋の全国交通安全運動始まる
24日＝農業委員会
29日＝馬路，魚梁瀬両地区村民運動会
31日＝故吉田茂国葬

11月
3日＝文化の日
9日＝中芸地区選挙推進パレード
10日＝農業委員会
11日＝中芸地区町村職員体育大会（田野小）
14日＝農業委員，部落庶務合同会
18日＝林業構造改善協議会
21日＝海南町長一行小石川林道山視察
23日＝勤労感謝の日
25日＝秋季職域ソフトボール大会（優勝，教員チーム）
全国火災予防週間始まる
27日＝中芸地区一巡防火パレード
28日＝選挙管理委員会

12月
1日＝知事選挙投票日
6日＝馬路熊野神社例祭
7日＝馬路熊野神社例祭奉納相撲（団体優勝岩城組、個人優勝橋本元就）
18日＝中岡慎太郎生家落成式（北川村）
20日＝選挙管理委員会
26日＝定例議会
28日＝御用納め

新春を迎えて

村長　山崎公好

村民の皆様、明けましておめでとうございます。

旧年中は、村政発展のため格段のご支援を賜わり改めて感謝を申し上げますとともに、新年を迎えるにあたりまして、責任の一層重大なことを痛感いたしているところでございます。

昨年は各産業部門の景気が上昇し国内経済は誠に明るい年でありましたが、本村の農業につきましても心配されていた、干ばつや、台風などの影響も少なく、水稲をはじめ農作物は近年にない豊作で生産は飛躍的に伸長しました。

このような実績を得ましたことは、ひとえに農家のみなさんのご努力と、農業関係の方々のご指導のたまものと心から感謝申しあげます。

なお、林業関係は森林組合が農林大臣賞を、組合長は知事賞とこのような実績を得ましたことは組合長、役員、職員、労務班員の方々の一致協力、事業遂行にまい進された結果かかる成績を上げることができ、これまたご同慶にたえません。

林業構造改善事業も最終年度にあたり着々事業を進めることができました。そのほか四十年の災害復旧事業、テレビ中継局の設置、馬路小中学校のプール建設あるいは大幹線林道小石川～大木屋線の現地測量の実施、県単山村振興事業の指定、集落補強事業など、四十二年は各方面にわたり各種事業を進めることができました。これはひとえに村議会はもちろん、村民の方々のご理解あるご協力のたまものと深く深く感謝いたしています。

さて、新年を迎え、心をあらたにして村将来の発展のため山村振興法にもとづく指定、大幹線林道の早期開発、また県単による林道の開発、災害復旧事業の促進などを実施したいと考えていますが、ご承知のように、国の財政硬直化にもとづき、地方交付税の引き下げなど、四十三年は地方財政に対してきわめてきびしい年になるではないかと思われますが、かかる年こそ心を引きしめ最善の努力をいたす所存でございます。

以上年頭にあたり所懐の一端を申しあげましたが、どうか今後も格段のご指導とご協力を賜わりますようお願いいたします。

地方自治功労者
伊吹順一郎
伊吹茂幸さんを表彰

村では、地方自治法施行二十周年を記念して、村の地方自治に功労のあった医師伊吹順一郎さん（65歳）と、森林組合参事伊吹茂幸さん（56歳）を、去る十二月二十七日、定例会の開かれている議場で表彰しました。

伊吹順一郎さんは昭和十三年本村で開業して以来、現在まで村医、各学校校医として、村民の医療保健業務にたずさわってこられ、また伊吹茂幸さんは、昭和二十五年以来日浦部落の組長あるいは部落庶務として、村の行政に協力されてきたというもの。

〔村長より表彰を受ける伊吹茂幸さん右側〕

自治功労賞受賞
森林組合長　甫木義郎さん

甫木義郎さん

知事より表彰される

四十二年度、高知県は各産業部門において功績のあった人々に対して、十一月三日文化の日県庁正庁ホールで表彰式を行ないました。

当村では、地域林業の発展と森林組合育成強化に、努力されている森林組合長甫木義郎氏が、林業部門で、自治功労賞の受賞に輝きました。

国土の開発が進み、あるいは造林の拡大に伴い、四季四季美しい花を咲かせ、また紅葉をつける「花木」が最近段々と姿を消してゆき、自然の色彩が失われつつあるのは誠に残念なことです。

自然の保護維持によって環境美化を推進するよう皆さんの御協力を願います。

一、「花木」の残し方

⊙雑木材の伐採に際して

雑木材の伐採のとき、小灌木にいたるまで伐採し、林地を裸地状態にすると、土壌の乾燥がひどくなり、また表土の流亡が促進されるなどにより、土壌の理化学性が悪化し林木の生育に好ましくない状態となる。

従って雑木林の伐採に当っては森林施業に支障のない程度に「花木」や灌木を林地に残す。

⊙造林地の場合

地拵のとき小灌木にいたるまで必要以上に伐採し、林地を陽光にさらすと土壌の乾燥がひどくまた表土が流亡して土壌が悪化する。

造林木の生育を妨げない程度に広葉樹を混生させることは林地の保護、病虫害発生の防止だけでなく植栽や保育作業時の庇蔭等となり経営上有利であるし、また鳥獣保護、林地保全等森林の公益的な効果を発揮させる点においても極めて有効である。

また、尾根、林地の境界あるいは谷筋などに広葉樹を残すことは気象によるいろいろの災害を防止し、あるいは火災の際防火帯として大きな役割を果すし、また所有界をはっきりさせることにも役立つ。

最近ともすれば造林をする場合けっぺきすぎる程林地を

花木を残しましょう!!
皆んなで緑と花の村に

する傾向があり、またこのため針葉樹だけの一斉単純林をつくる施業方法が殆どであるが前述のように林地の一部に広葉樹を残すことが施業上好ましく、またそれが同時に森林の持つ公益的な効用を発揮させ自然の破壊を防ぐことにもなる。

この残存する広葉樹を「花木」にすれば自然環境の美化が加わりまさに一石三鳥ともいえる。

⊙道路沿い等の場合

河川、道路沿いあるいは住居の周囲などに生育している「花木」をできるだけ残し、また植栽することは単に周囲を美しくするだけでなく、観光的な役割も非常に大きいといえよう。

二、「花木」の種類

⊙美しい花を咲かせる木

とさみずき、あせび、やまぶき、さくら、やまもも、みつまた、くろもじ、つつじ、とべら、ほおのき、しゃくなげ、くちなし、せんだん、ねむのき、むくげ、あかめがしわ、くさぎ、あじさい、きょうちくとう、はぎ、さざんか、ひいらぎ、つばき、はんのき、うめ、もくせい等。

⊙紅葉の美しい木

かえで、ぬるで、かき、うるし、しで、けやき、つた等。

⊙新緑の美しい木

とちのき、けやき、かえで、やなぎ、ぶな、やまざくら、くす、しい、もみ、つが、つばき、もっこく、やつで、あせび等。

⊙美しい実のなる木

まさき、まゆみ、さるとりいばら、あおはだ、そよご、もちのき、しろだも、あおき、なんてん、いちい、あきぐみ、ほおのき、かき、まんりょう、むくのき、くすのき、せんだん、ひさかき、かなめもち、むらさきしきぶ等。

ご出産おめでとうございます

父　母　赤ちゃん　続柄　生月日　部落
大西　良一　規子　良恵　長女　9・26　相名
竹内　健二　和子　一浩　長男　10・2　魚梁瀬
佐古　桂美　代昭　彦　長男　10・16　影
尾谷　和宏　峯子　里枝　長女　10・21　相名
中山　先功　牧　三千世　長女　10・26　日浦
丸山　裕朗　佳子　和伯　長男　11・10　影
寺田　宏　照美　文彦　長男　12・18　魚梁瀬

ご冥福をお祈りします

氏名　性別　行年　亡月日　世帯主　続柄　部落
野村　貞代　女　77　10・7　貞代　本人　影
山下　和恵　女　19　10・10　襲　三女　中ノ川
大西　福子　女　30　12・7　繁勝　妻　日浦
栗林　マス　女　91　12・13　忠孝　母　影
山崎　福恵　女　69　12・15　容臣　母　魚梁瀬
公文　福次　男　83　12・18　和市　父　日浦

議会の会議録を読もう

写を公民館に備付け

議会は法の定めるところにより「会議公開の原則」にたっています。つまり、住民の代表機関である議会を広く一般公開することにより、住民の意志が議会にいかに反映しているかを知らすとともに議会を住民が批判監視をし、常に公正な議会運営がなされることの二つを目的とするものです。

具体的には、傍聴の自由、報道の自由、会議録の公表を内容とするものですが、現状としては傍聴者、会議録閲覧者も全くないわけです。そこで議会では少しでも議会の内容を住民の方々に知っていただくため、議事録の写を馬路、魚梁瀬両公民館に備付けました。どうかお気軽に講読してください。

今後の林業経営 (10)

馬路村の林業は 受託森林経営で

一九六八年の新春おめでとうございます。

「今後の林業経営」と題して林家の皆さんに、何か参考になればと自分の不勉強をもかえりみず、広報「うまじ」をかりて第五号から掲載、以来満二年余り今回第十回を数えるに至りました。

林業経営は林家の実情、林地の条件等、実態がおのおの違うもので一様にものさしで計るようにうんぬんすることはできないと思いますが、実際に皆さんが造林を行ない保育や生産に日頃経験して来たことに対してなるほどと思われる点が、この林業講座の中にあれば役だてていただきたいと考えるわけであります。

（馬路村の林業は受託森林経営で）

およそ林業に関係ある人はいう、林業の担い手は森林組合である……と。そして林業の前途には幾多の「きびしさ」が横たわっている……と。

組合員の協同組織として、森林組合が真の活動を行ない林家の社会的、経済的利益を願うことが組合の必要性を認識され組合活動に積極的協力を得るもとになるのであります。

組合が三・四〇〇haあまりの民有林を対象に改組して迄十六年間幾多の難関に遭遇しながらも、組合員の協力を得て徐々に協業事業を推進し組合員とのつながりを深め組合基盤の拡充につとめて参ったのであります。

本村の国有林野の占める六十八%の割合からして国有林野に依存せざるを得ない立地条件であることから営林署の恩恵に浴し、国有林事業を民有林業に組みあわせた組合事業を行なっております。村の林業を将来繁栄させるには、馬路村の民有林を全山緑としなければなりません。

民有林の所有規模は（別表(1)参照）村有会社有を除けば五～二十HA層の所有が多く、一戸当り平均十haが六十%を占めております。

しかし民有林の地域森林規模が小さいから山林を高度に利用しなければ村の林業は一時とだえるわけです。ですから、そのようなことのないよう組合は協業事業に最大の重点を置いて、受託事業を更に一歩すすめた、計画性のもてる森林経営造林事業を啓蒙推進中で（別表(2)参照）三十八年から開始した五カ年計画の最終年度に当る四十二年目標を完遂し、分収造林を合わせて二百七十haの長期経営契約が出来たのであります。

この二百七十haの計画だけでも、昭和六十八年から年間九haの主伐が可能となり、平均一haあたり二百七十五m³×九ha＝年間二千四百七十五m³の素材が生産され、一m³当り現在の木材価格で手取金一万二千八百円として三千百六十八万円の手取りとなる。この二百七十haの構成員は八十五名であるが一戸当り三十七万円余が平均手取金となるわけです。

森林組合が地域林業の振興と組合体制の強化できたことは、組合員の深い理解と各関係機関の暖かいご支援によるものであります。

一粒のたねから芽ばえて、長年月の風雪に堪え天空高く枝葉を広げ、そびえ立つ樹木の営み、自然力のたくましさは、森林組合の過去から将来への歩みを思わせるものがあります。

組合は地域の林業センターとして協業事業の伸展に強い信念をもって、たゆまぬ努力を続けたいと念願するもので、委託森林経営こそ、これからの農山村をとりまく悪条件を解決する絶対条件であると確信いたしております。

組合員各位におかれましても益々組合事業に御協力賜わり馬路村が林業村として、他産業と共に暮らしよく、すばらしい時代が到来するよう私達も常に皆さん方の林業経営の近代化に心がけ勉強したいと念願いたしております。

（河平稔）

（別表）(1)　組合員の森林所有規模

所有規模 ha	0.1未満	0.1～3	3～5	5～10	10～20	20～30	30～50	50～100	100以上	計
戸数	54	65	38	81	69	14	4	2	4	331戸
面積	27	120	159	623	893	323	148	105	1,016	3,414ha

（別表）(2)　森林組合の受託森林経営及分収造林実績

区分 / 年度	森林経営 戸数	森林経営 面積	分収造林 戸数	分収造林 面積	備考
年	戸	ha	戸	ha	
38	29	17.91			
39	7	67.94			
40	21	16.37			公庫資金借入れ準備のため面積の減
41	13	47.95	10	17.25	
42	11	49.43	17	53.71	
計	65	199.60	20	70.96	合計　270.56ha

（注）年度戸数は延数、計戸数は実数

43年成人おめでとうございます

満二十歳になった方を祝福する恒例の成人式は、一月十五日馬路公民館及び魚梁瀬公民館（毎年馬路公民館で合同で行なわれていますが、本年は久木トンネル通行止めのため）で行なわれました。

本年度の本村の該当者は、戦後のベビーブームの波にのって誕生した方たちで、人員も最高の四十七名（馬路＝男十二名、女二十一名、魚梁瀬＝男六名、女八名）をかぞえました。

しかし時代の波にのって離村しているものなどが多く出席者は馬路十四名、魚梁瀬七名の淋しさでした。

しかし、村長さんをはじめ来賓者の方々の温かい激ましを受けて、希望に燃えた新しい人生へ出発いたしました。

なお、この日成人を迎えられた方々は次のとおりです。

中ノ川	影	部落	性別
〃	〃	〃	女
朝日出	〃	日浦	〃
東川	〃	東川	〃
〃	〃	〃	男
〃	〃	〃	女
〃	〃	〃	男
〃	〃	〃	女
（魚梁瀬地区）			
丸山	女	岡田	郁代
〃	〃	堀	厚子
〃	男	柘山	敬一
〃	女	柘山	要子
〃	〃	山崎	典子
〃	男	山崎	惟男
〃	〃	山崎	啓司
〃	女	山崎	照子
中川	〃	和田	京子
〃	男	上総	操子
〃	〃	高橋	俊雄
石仙	〃	藤田	明英
丸山	〃	森沢	幸弘
〃	女	五百蔵	洋子

〃	〃	谷川	亜
〃	女	中屋	和枝
〃	〃	中川まつ	子
〃	〃	中岡	芳恵
〃	男	西川	皖康
〃	女	村上美智	字
〃	男	三宅	真理
〃	〃	前川	市郎
〃	〃	山下	伸一
〃	女	五味	栄美
〃	男	前野	広正
〃	〃	乾	司

栄冠

教員チームに輝く

職域ソフトボール大会

各職域間における、スポーツに対する関心を高め、友好親善を目的とする第二回馬路地区秋季職域ソフトボール大会は去る十一月二十五日、馬路中学校グラウンドにおいて、馬路営林署AB、郵便局、森林組合、青年団、商工会、馬路運送、教員、以上八チームが参加して覇を争いました。

当日は、珍プレーなども続出し集まった観集を喜ばせ意義ある一日を過しました。

その結果、決勝戦は前年度優勝チーム営林署Bと教員チームの間で争われ五対1で教員チームが営林署Bチームを破り初優勝しました。

× × × ×

団体岩城組
個人橋本優勝

奉納相撲大会

馬路村熊野神社恒例の奉納相撲大会は去る十二月七日午後一時より、馬路中学校の特設土俵で開かれました。

本大会は、青年団が主催で昨年からは出場者を村内在中者のみと限定し実施され、地元民の好評を博しております。

本年度は、中学生二チームを含め十チームが参加して熱戦をくりひろげ集まった三百人余の見物人を喜ばせました。

成績は次のとおり

団体＝①岩城組②馬路営林署③橋尾丸組

個人＝①橋本元就②岡村靖男

なお、決勝は次のとおりです。ご寄付をくださいました方には青年団より厚くお礼を申し上げます。

昭和42年度熊野神社
奉納相撲決算書

収入の部

項目	金額
寄付金	58,350円
計	58,350

支出の部

項目	金額
賞金	44,600円
行事謝金	2,000
検査役謝金	2,000
土俵場造費	3,000
旅費	1,000
準備費	1,566
回し代	4,184
計	58,350

北川と熱戦を展開する馬路チーム（右側）

馬路排球チーム
男女共優勝の栄冠

中芸排卓球大会

恒例の第九回中芸地区排卓球大会は去る十一月二十六日、田野町中芸高校グランドにおいて中芸五カ町村が参加して開催されました。

本村では馬路から男女排球チーム、男子卓球チーム、魚梁瀬から女子排球チームが参加致しました。

男子排球チームは、安田、奈半利、北川、馬路の四チームが、女子排球チームは、馬路、魚梁瀬の本村二チームが覇を争いました。その結果、男子チームは2－1安田、2－0奈半利、2－0北川、女子チームは馬路2－0で魚梁瀬をいずれも撃破し見事男女共優勝を飾りました。

なお、これに先だち、十月一日高知市で開かれた全国青年体育大会県予選へ馬路女子チームが参加しました。

馬路女子チームは、各人が職業が統一されていないため、昼間は練習ができず、夜間それも屋内体育館がないため、馬路中学校グランドで水銀灯をたよりに時間的制約のなかで激しい練習に日々をついやしました。

その練習の成果を示すべく大会では、強豪高知市と対戦しましたが、日頃の苦しい練習も実のらず惜しくも敗れました。

しかし、この経験を土台に、周囲の悪条件にもめげず、今年こそは待望の全国青年体育大会への出場の夢をかなえてくれる事と思います。

成人病退治の守り札

癌の早期発見について

最近癌の問題が世間で非常な話題になっております。癌にもいろいろありますが、特に日本では胃癌が多く死亡順位では男女共に第一位であります。発生順位から見てみますと、男では胃癌、女では子宮癌が少し多くて胃癌がこれについでおります。以下簡単に胃癌、子宮癌の初期症状について述べてみましょう。

早期胃癌の自覚症状としては、胃の痛み、胃がはる、食欲がない、胸やけがする、げっぷがでる、胃が重苦しい、吐く、体がだるい等の症状がありますが、今のべた症状は胃癌特有なものではなく胃炎、胃潰瘍等にも同症状が見られることがあります。だから癌を疑うことは非常にむつかしく自己判断はやめて早く専門の医師の診察を受けるのが一番安全といえるでしょう。

次に子宮癌の初期症状としては性器出血が一番多いのです。月経のない時期とか夫婦関係の際少量の出血、さらに月経閉止後のわずかな出血等も危険信号ですが大切なことはこのようなことがあったからといってすぐ自分で癌だと自己判断して思い悩むのは愚の骨頂です。いずれの病気でも自己判断はやめて早く検査を受けて専門家の判断を待つようにするのが何よりも早期発見の手がかりとなるのではないでしょうか。

郵便局便り

○ お年玉つき年賀はがきの抽せんと賞品

年賀はがきのお年玉抽せんは一月十五日に行なわれました。当せん番号は次の通りです。

（各組共通）

一等　トランジスタテレビ　九六七九九六

二等　ハーフサイズカメラ　一二九八三三

三等　シーツ　七三三〇一

四等　封筒セット　七一一六

五等　切手シート　二五四

下五ケタ　下四ケタ　下三ケタ　下二ケタ

賞品の交付期間は一月二十日から七月十九日までですが、当せんされたかたはなるべく早くもよりの郵便局へはがきを持参しておうけとりください。

なお、三等以上については当せんした番号の余白に受取人の署名か、なつ印が必要です。

○ 年賀状で住所録の整理を

年賀状の交換で、住所の異動や新住居表示制度による新町名番号が変更されたものは、この機会に住所録を整理して正しいあて名をひかえておくようにしてください。

○ 書き損じた年賀はがき

お年玉つき年賀はがきを、書き損じた場合は、はがきまたは郵便切手と交換できますから郵便局の窓口にお申し出ください。

○ 古い年金に有利な特別措置、今月から取扱い開始〔簡易保険〕

郵便年金は、老後の生活や学資の用意にたいへん多く利用されています。ところが、戦前から戦後まもない時期に加入された郵便年金は、残念ながら現在では期待にそえなくなりました。

郵便局では、加入者のお気持ちを考えて、年金をくりあげて一時に支払うほか、一、八〇〇円から六、七〇〇円の範囲で特別付加金をつけることになりました。

取扱い期間は今月から二か年です。ご希望者は次の書類を持って郵便局へお申し出ください。

㈠年金証書および掛金領収帳
㈡年金受取人であることを証明できる書類（戸籍または住民票の謄抄本、米穀通帳、身分証明書など）
㈢印鑑

なお、この二年間にお申し出がなければ、契約は従来どおり継続されます。

○ 簡易保険で、新年の生活設計を

「一年の計は元旦にあり」といわれています。新年を機会に一年間だけでなく、一生にわたる長期生活設計をたてたいものです。

生活設計の方法はいろいろありますが、途中万一のことがあっても計画した金額が保障される貯蓄手段に「生命保険」があります。

したがって、現代人の生活設計に生命保険を加えることは、この生活プランを確かにする意味で不可欠の要素といえましょう。

郵便局では、この一月から三月までの間、新年の生活設計に手軽に利用できる「簡易保険新加入運動」を展開しています。

○ 計画貯蓄のスタートは郵便貯金で

新春――ご家庭の貯蓄計画にふみ出されるのにもっともふさわしい時期です。

先般発表された貯蓄に関する世論調査によれば、ご家庭における貯蓄目標の平均は年収の四倍だそうです。

「年収の四倍」――ちょっと多いようにも感じますが、めんみつな計画と強い意志で、高い目標を達成したいものですが、長期計画貯蓄にピッタリなのが「郵便局のみりおん会」です。

郵便局では、定額貯金で、収入に合わせて無理なく百万円がたまる「百万円づくりの七つのコース」を用意して、財産づくりのお手伝いをしています。

お宅さまも郵便貯金で、計画貯蓄にスタートしてください。

○ 小額送金は定額小為替が一番

ことしも間もなく入試シーズンとなりますが、受験料を送るのに簡単で送料が安く、しかも受取った大学側でも処理に便利なのが、郵便局の「定額小為替」です。小為替は、このほか同窓会の会費、寄付、通信販売など七千円までの送金で、百円未満のは数のつかない送金には、たいへん料金が安く、普通郵便でも送れて便利な方法です。

郵便局の窓口で「定額小為替」といって、お金と振出料を出せば、引き換えに小為替の証書を渡されます。小額送金のおりはぜひご利用ください。

（小為替料金表）

金額	料金
百円～千円まで（但し、百円単位）	十円
千五百円	二十円
千円	二十円
二千五百円	三十円
三千円	三十円

シロバラコーナー

狐と犬

一匹の狐が羊の群に入りこんできて、小羊を可愛いがるようなふりをしました。

犬に「なぜそんなことをするのだ」ととがめられると、「私は、乳を呑ましてこれとあそんでいるのです。」といいました。すると犬は「今すぐ小羊を放さないとお前に犬どもの可愛いかり方を教えてやるぞ」と言いました。

△　△　△　△

この話はインチキをやる狐を見わけた犬のように、かしこくなくてはならぬ、ということを教えています。選挙でもインチキやごまかしのないようによく見分けて悔いを残さないようにしたいものです。

（シロバラは明るい政治のシンボルです）

教育の窓

文部省指定の 道徳教育の研究進む
—魚梁瀬小学校—

昭和四十二年度、文部省より道徳教育の研究指定を受けた魚梁瀬小学校では中学校の協力のもとに研究は着々進み、道徳教育目標設定から重点具体的目標更に年間指導計画の作成、主題一覧表まで完成し、月別主題配当表の作成に総力を挙げて取り組んでいたがそれもこの程完了し、実証のための研究授業に忙殺されているこの頃です。

去る二月六日県教委道徳担当池本指導主事、安芸教育事務所西岡指導主事を迎えての校内研究会で「各先生方が短期間にここまで研究を進められたことは大変なことで更に一年間ミッチリ授業研究に取り組めば、小中関連という全国に例のない研究が完成するであろう」と批評を載きました。なおこの研究は二月下旬中間発表が行われる予定のようです。

なお研究中における調査観察による地区民、児童、生徒の実態を参考までに掲げてみます。

魚梁瀬校区の実態

長所
- 教育には熱心である。
- 経済的には平均している。
- 排他的でなく包容性がある。
- 部落ごとに密集しており、まとまりやすい。

短所
- 地区はえぬきの者が少ない
- 営林署依存の生活である。
- 堅実で質実な面が少ない。

従って、全般的に生活が派手である。
- 農村的な保守性と都市的な進歩性をあわせもち、渾然としていない。

児童生徒の実態

長所
- 素直である。
- 比較的健康安全の習慣が身についている。
- 乱暴でなく、けんかなど余りしない。
- 規則をよく守る。
- 節度のわきまえがある。
- 動植物をかわいがりだいじにする。
- 公共のものを粗末にしない

短所
- 勤労をいとう。
- 根気強さがない。
- 自主性はあまりない。
- 物や金銭をあまりだいじにしない。
- 消極的で発表力にかける。
- 創造力がたらない。

などがでて来ています。これらの結果は道徳教育の目標設定の大きな資料となっています。

馬路中学校 六久保教頭表彰さる
高知県教育委員会より

馬路中学校六久保正行教頭は昭和四十二年度高知県教育委員会より一般表彰として表彰されました。

本年度は功績表彰五人、一般表彰八人、勤続表彰六十三人が表彰されました。

一般表彰された先生は馬路中に赴任されて以来、学校緑化によって環境を整備すると同時に子どもたちの自主性を育て情操を陶冶し、道徳性を培おうと一意専心努力されたので僅かの間に校内外がその様相をかえ「緑と花」につつまれた学校、情操豊かな道徳性を身につけ勤労を尊ぶ子どもに育てました。その功績は大きいものがあります。

表彰理由に「昭和四十・四十一年度の学校緑化活動指定によって身につけた緑化技術を生かしよく職務に精励し、学校の品位を高め地域の教化に貢献した」とあるのもうべなるかなであります。

（写真上は六久保正行先生）

県花壇コンクール
二年連続の栄誉
—馬路中学校—

昭和四十二年度、高知県花壇コンクール秋の部で馬路中学校が団体の部で第一位の栄誉を獲得、昨年に引き続き県下一の「学校花壇」となりました。同じように日浦教員住宅も参加賞として表彰されました。

重なる二年連続の第一位入賞は過去三年間「〃花と緑〃で囲まれた豊かな学校環境を作り情操的な生活態度と道徳性を培い、よりよい環境とよい雰囲気設定」という学校の方針が実を結んだもので学校としては最高の栄に浴したものであります。

この環境設備、学校緑化は子どもたちを大いに教化し、一例を申しますと中学生ともなりますと掃除などサボって殆んどしないのが他校一般の例でありますが馬中はその点感心する他ないのです。その他の勤労作業においてとても活動的で、また教室内の花びんはいつも自主的に花がさされているなど個人として集団として子どもたちの心の奥深くまで徹底しているのには学校視察に来られた者一同が賛辞として送っている言葉であることからもうなずけるわけです。

この勤労的で自主性に富んだ能力を日々の授業の中に発揮できるように早々なってもらいたいものです

事故ゼロの 交通安全指導状況
—馬路村小中学校—

自動車絶対数の増加は、児童生徒の交通事故ゼロの美名のもとに安閑としてはいられない現状で各校においてはその指導に真剣に取り組んでいます。

各校の実践状況を紹介致しましょう。

魚梁瀬小中学校

まとまった丸山台地、中川、西川、石仙のスクールバス利用などで幹線主要道路を利用するのは一部に限られ、しかも自転車通学は許可制をとっているし、学校内での交通安全指導で事故は殆んどなく、苦情なども全く聞かれなくなっています。

馬路小学校

校内における安全指導は、朝の話し合い、帰りの反省会、学級会などでそのつどつど取り上げられ、話し合われているし交通安全週間には、全校挙げて運動場で実地指導するなどその徹底を期しています。

また今年の冬休みを利用して廊下、体育館にセンターラインを引き、廊下の通り方を主要週間目標の一つとして実践指導しています。

馬路小学校

朝の話し合い、帰りの反省会学級活動の時間などで交通安全の問題が取り上げられ、話し合われています。また各教科の時間中、関連する問題がでて来た場合には、特に注意して指導しています。保健体育の時間などスライドで指導する場合もあり安全週間には駐在さんに来てもらって実際の指導をしてもらいまた火災避難訓練なども時々やっています。

馬路中学校

馬路中学校交通道徳の意識が特に高い馬路中学校では自転車通学が多いので自転車通学訓練の徹底を期しています。

まず交通安全指導のため年間指導計画を作り、道徳の時間で六時間、特別活動で七時間、学校行事で十時間を予定しています。そして保健体育の時間に特に注意して指導しています。更に自転車の許可制は車体の検査と運転技術をみて現在二十七名に許可証を与えています。警察に来てもらって交通教室も開くなど交通安全の指導に総力を挙げています。

新学期より 生乳に きりかえる
—馬路小中学校—

かねて馬路小、中学校児童、生徒ならびにPTAからの強い要望のありました脱脂粉乳を生乳にきりかえることについて村教委は県当局と数回にわたる折衝の末、四月の新学期より実施の運びとなりました。

生乳につきましては、文部省においても昭和四十五年度までに脱脂粉乳から生乳に切りかえの方針で、また本県においても昭和四十一年度三六〇〇石の需要が四十二年度は四〇〇〇石と増加一途をたどっており、また安芸郡においても安芸市の一部安田町の中山小、中学校で切りかえています。

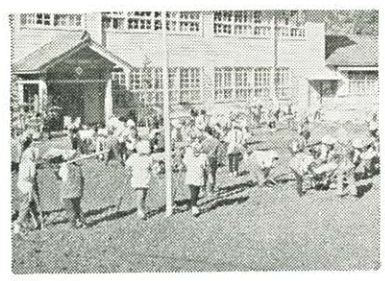
生乳はカロリー、脂肪、ビタミンAは多いがたん白質、カルシューム、ビタミンB₂は少ないと言われています。脱脂粉乳との味はそれ程違わないと思います。脱脂粉乳については子供たちの評判はすこぶる悪るく、無理さして飲ましておるのが現状です。これでミルクに対する悪評もなくなり楽しい学校給食となることでしょう。

しかし価格の面において脱脂粉乳では一回分小学校二・四〇円、中学校三・二三円でしたが生乳になり小中とも八・二〇円それに運賃が二円位加わりますのでかなりアップになります。現在の小学校六〇〇円、中学校七〇〇円がそれぞれ一五〇円程度値上りとなります。

グラウンド土入れ
—馬路小学校—

馬路小学校々庭は、数年前から西側が雨に流されて低くなり雨が降るとグラウンドは軟弱になりそのあとは数日間もかわかず、最悪のグラウンドで子供たちの悩みの種となっていましたが、このほど新しい土を入れ今迄の悩みが一掃されました。

作業には、役場の新購入のハンドドーザが荒慣らしをし、あとの整備には、小学校の父兄が自主的に作業を手伝って下さって新らしいグラウンド造りに汗を流して下さいました。



（整地作業をする父兄の方々）

魚梁瀬中作品
社会を見て

中三　門田　美保

近頃、わたしたちがよく耳にすることばに「不幸」ということばがあります。

日本語にはたくさんの意味があって難しいと聞いたことがあるけれど、不幸ということばについても使う範囲が広くわたしたちも知らず知らずに話していることもあります。

不幸ということばでピンとくるのは交通事故です。四、五日前の新聞に観光バスが、大型トラックに追突するという事故が載っていました。これだけ聞いた人ならば、おそらく「またか！」といかにもそっけなく扱われるのではないだろうか。毎日のようにどこかでこのような事故が一つや二つは起っている現状からいって確かにうなずけることだがいかにも悲しいことだと思う。

なぜならば、一人一人が完全に交通規則を守っていたならばこのような事故が一日に何件も出来るはずがないと思う。個人のちょっとした不注意が事故のもとだろうからだ。

わたくしが、この事故を取り上げたのは、記事の中に忘れられないようなことが書いてあったからです。それというのは、その時のバスガイドのAさんがドアに足をはさまれて両足を切断しなければならないということでした。

そこを読んだ時、わたくしが考えたことは、十九歳であるこのAさんがこれから先の長い人生をどのように歩んでいくのだろうかということでした。

わたくしはAさんがこの苦しみの中から早くたちなおり、価値のある長い人生を送ってほしいと思いました。また、この人の外見の不幸が心の不幸にならないでもらいたいと思います。

これから先、生活状態がますます安定して来ると車も今以上に多くなると思うけれど、車の増加と共に事故も増加するということにはなってもらいたくない。一人が一人が十分注意して事故を少しでも少なくして行ってもらいたい。事故が少なくなれば多少は社会が明るくなるのではないだろうか。

学歴が必要 であるか

中三　安岡　秋重

二年くらい前にだれかに「学歴が必要であるか」と聞かれたら、ぼくは「学歴など必要ではないっ」と答えただろう。

けれどもまだ世間を知らなかったからだ。けれども世間のいろんなことがわかるにしたがって、この問題を真剣に考えるようになった。今では自分なりに「学歴は必要である」という結論をだした。

確かに「学歴はなくとも才能さえあれば」ということも一理はあると思う。江戸時代から明治時代ならそういうことは通用しただろう。

けれども今では一人、あるいは何人かで「学歴は必要ない」といっていくらがんばってもどうにもならないだろう。

たとえばプラモデルの自動車を水に浮かばして走らすことができない。それは自動車には自動車の形があり、水に浮く船には船の形がある。その形に逆って自動車を浮かばそうとしても無理なことはあたりまえである。

「学歴がなくとも才能さえあれば」ということも現在の社会つまり今の世の中に逆っている点では自動車を水に浮かせるということと同じではないだろうか。なぜならば今一流の高校大学を出ていれば就職口がいくらでもあり、会社にはいればエリート社員になり、ぐんぐん出世しているし、有名校の競争率は二流三流の学校より二倍も三倍も高い。それに高校入試の時にも中学の成績が必要となる。

これらのことから、この世の中に「学歴は必要にないっ」と逆ってもどうすることもできない。

だからやはり、学歴は現在の社会においては必要でしかも重要ではないだろうか。

死について

中三　手島　史子

中三コースに「ある日わたしはこうして死にたい」というアンケートをとったものがのっていた。

それによると死について考えたことがあるというのが八十三％で〝ないのが十七％だった。

わたくしたちも時々「死ぬときはどんな死にかたが良い？」などと冗談に話すが、いつもまとまるのが苦しまないでポックリ行きたいということだ。

本へ書いてあるのでは一番多いのは「百歳ぐろ自分の子や孫に見守られて…」というのだそうだ。

こういう死にかたは絶対したくないというのには病死、事故死がトップをしめている。理由は「不意に大地にたたきつけられ、頭が割れ、からだはバラバラ、いくら死ぬ自分にはわからないといっても、そんな姿を人に見られるのはみじめでかっこうがわるい」ということだ。わたくしもそれと同じに思う。

だから、わたくしが年をとって死にのぞんだ時はなるべくみんなの思いと同じように苦しまずに死につけたらしあわせだと思う。